

PRESS RELEASE

2016年3月8日

株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、ネットワークマネジメントサービス「SACM」の対応サービスアダプタとして、 新機種「SA-W2」を提供開始

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部)は、サービス事業者向けにOEM提供しているネットワークマネジメントサービス「SACM(Service Adaptor Control Manager)」の対応サービスアダプタに、新機種「SA-W2(エスエー・ダブルツー)」を追加し、2016年3月30日より提供を開始します。

SACMは、IIJの特許技術「SMFv2」(※1)をベースに、通信機器(サービスアダプタ)をネットワークに自動接続し、遠隔から集中管理するマネジメントシステム基盤です。本サービスでは、VPNや無線LAN等の機能を「レシピ」と呼び、お客様が必要とするレシピをクラウド側からサービスアダプタへ提供します。サービスアダプタ自体は無償で、お客様が利用するレシピに対して月額課金するモデルを採用しています。

新たに提供するSA-W2は、既存のサービスアダプタと比較して、PoE受電対応や無線LAN 5GHz対応(2.4GHzと同時利用可能)などの機能強化に加え、性能は約2倍に向上し、海外での利用にも対応(※2)します。お客様は、海外拠点を含めたネットワークの一元管理が可能になり、また、利用するレシピはクラウド上で管理されているため、既存機器から交換する場合も、物理的にSA-W2に交換するだけで、自動的にレシピが引き継がれ、手軽に切り替えることができます。

2016年6月には、ネットワーク機能を仮想化しクラウド型で提供するネットワークサービス「IIJ Ominibus(オムニバス)サービス」の対応サービスアダプタとしてもSA-W2を提供する予定です。

なお、IIJでは、3月10日(木)～13日(日)に開催される技術イベント「AsiaBSDCon 2016」にて「SA-W2」及び「SACM」の展示を行います。

IIJでは今後も、独自開発のネットワーク技術を活かし、高品質なソリューションを提供してまいります。

(※1)IIJが独自開発したネットワークサービス・オペレーティングシステム「SMF」の発展技術で、2010年2月に日米で特許取得。
(日本:特許第4463868号、米国:特許7660266号)

(※2)対応国:EU諸国、タイ

対応予定国:シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ、香港(2016年4月以降順次対応予定)

- 「SA-W2」仕様

サイズ	幅 200mm×高さ 35mm×奥行 145mm (突起部除く)
有線 LAN	Gigabit Ethernet×4 ポート
有線 WAN	Gigabit Ethernet×1 ポート、PoE
無線 LAN	2.4GHz (802.11b/g/n)、5GHz (802.11a/n/ac) 同時利用可
USB ポート	USB2.0 Type A × 2 ポート
処理性能	フォワーディング約 800Mbps
IPsec	約 200Mbps

- 製品イメージ



製品詳細は <http://www.sacm.jp/> をご覧ください。

- AsiaBSDCon 2016 イベント概要

会 期	2016年3月10日(木)～2016年3月13日(日)
会 場	東京理科大学 森戸記念館
主 催	特定非営利活動法人 BSD Research

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL: 03-5205-6310 FAX: 03-5205-6377

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>